



ちばりは ニュース

2013年5月 発行 第13号

千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005
千葉市緑区菅田町1-45-2
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857
ホームページアドレス
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

— 私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

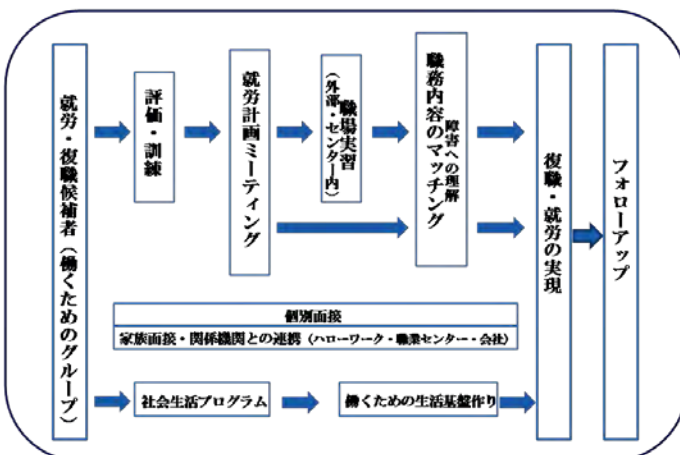
- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

障害者支援施設「更生園」における就労支援

更生園における就労支援（1）

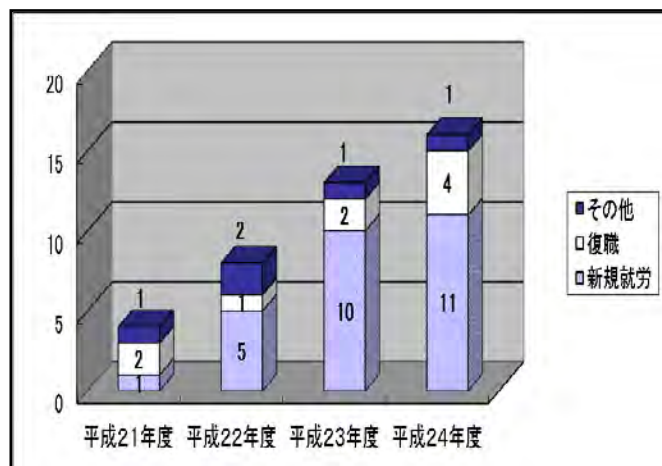
更生園は障害者自立支援法第5条に基づく障害者支援施設として施設入所支援を行うとともに、自立訓練、機能訓練、生活訓練及び就労移行支援などの施設障害福祉サービスを提供しています。障害があってもその人らしく地域で暮らし、学び、働くために自立（自律）することを目指す方に対して、地域生活移行支援、就労移行支援プログラムを展開する社会リハビリテーション施設です。

就労移行支援の流れ



園では、一般就労等への移行に向けて、評価・訓練・事業所内や企業における実習・職場探し・就労定着のための支援を行なっています。【定員10名】

※身体障害者手帳をお持ちの方、または、高次脳機能障害と診断された方が主な対象です。



就労移行支援は平成21年4月から開始し、今年で5年目を迎えました。23年度より導入している「カスタマイズ就労」の考えのもと、創造的な職場開拓を行い、新規就労、復職ともに実績が伸びています。

現在までに50名の方が利用され、そのうち、高次脳機能障害を有している方は45名です。過去4年間の退園者の実績はグラフの通りです。

昨年度は一般企業、障害者就業・生活支援センターなど、更生園以外の環境における職場実習を積極活用した結果として、職場実習件数が大幅に増加。この職場実習から新規就労、復職に数多く繋がりました。

一般就労された利用者のご紹介は次ページに (P2へ)



更生園における就労支援（2）利用者紹介

「どうしても企業で就職したい。多くの方にお世話になったので働いている姿を見せて恩返ししたい。(鈴木貴大様)」



今回、ご協力いただいた鈴木様は現在24歳。高校在学中に交通事故で受傷し身体障害と高次脳機能障害を負いました。現在も運動障害と両上肢の震えがありますが、杖歩行は可能となりました。バス等の交通機関を利用し、ご自宅から園まで車椅子で自力通所。「このような方の就職の場を探すことこそ、これから求められる支援ではないか」という思いをスタッフ全員が共有。就労移行支援の中で、職場での人間関係作りや作業遂行に必要な力を高められました。

就職活動では「障害者の能力を活用して成果を上げ、障害者と共に企業も発展したい、重度障害者の就労の事例を作りたい」と発想をしていただけた企業を考えていたところ、某企業と出会いました。「職場まで自力通勤ができた場合、雇用を検討したい」とのお話があり、安全な通勤についてPTを中心に外出訓練や環境への働きかけ（エレベーターの無い最寄り駅の駅長へ車椅子移動の協力を仰ぐ等）を行い、その結果やご本人の努力を企業に伝えたと、ご本人の通勤に合わせ、シャトルバス乗降場所が安全な場所に変更される等のご配慮までいただきました。業務に合わせて園内の訓練内容も変更。片手のみを使用する等の諸作業は思った以上に難しくOTを中心に検討と訓練を重ねました。

今回**トライアル雇用**としてスタートしましたが、まじめに取り組まれていること、明るく前向きなことが評価され、**本採用**となりました。就労移行支援に関わる私たちスタッフは、就職、復職はスタートラインという認識を持ち「**職場定着に向けたご本人、企業への丁寧なサポート**」等の支援を今後も継続していきたい、そう思っています。

脊損WG

千葉県内で発症した脊髄損傷の多くの方が、リハビリテーションを目的に当センターをご利用いただいております。脊髄損傷のリハビリテーションをさらに充実させることを目的に平成22年から、脊髄損傷WG（脊損ワーキンググループ）の活動が始まりました。

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、心理、医療ソーシャルワーカーの多専門職が参加し、リハビリテーションの内容やご支援の方法について共通の課題・目標に対し多角的な視点から検討しています。

【昨年1年間で検討した内容をご紹介します】

1. 患者様用パンフレットの作成(写真)：車いすの選定方法、食事・整容などの身の回り動作方法、排泄・褥瘡などの身体ケアの方法、医療・福祉制度の利用方法についてご紹介しています。パンフレットは病棟で閲覧できます。

2. ピアサポート活動報告：退院後の生活に向けた情報提供の場の一つとして、同じような障害を持つ方(ピア仲間)の話を聞く時間を設けています。

3. 退院後訪問支援調査：当センターを退院された方の退院後の生活状況について聞かせていただいた内容を報告し、今後の支援に繋げるよう情報共有を行っています。

4. データの蓄積・分析：治療実績データや脊髄損傷者の自動車運転評価等のデータを集約・分析し、リハビリテーションの発展に努めています。



脊損パンフレット

『休日リハビリテーションの提供』を開始！！

成人の入院部門では、限られた入院期間の中で、集中的・効率的にリハビリテーションを実施して、1日でも早く地域（在宅）での生活や、就業などの社会復帰を果たしていただくことを目指しております。そのために、今年度より、日曜・祝日を含む365日のリハビリテーション実施を開始いたしました。

新しいスタッフも研修を終え、リハチームの一員となりました。皆様に充実したサービスをお届けできるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



リハビリテーション療法部【全員集合！】

♪ 新しい仲間たちを紹介します ♪



診療部 小児神経科 (医師)
モットー：子どもたちの笑顔のために
趣味：スポーツ観戦
好きな食べ物：おいしいごはん
田邊良さん
「2年ぶりに戻ってきました。子どもたちの笑顔のために頑張ります！」



診療部 神経内科 (医師)
モットー：可能な限り正しい知識をもつ
趣味：料理の本を眺めること
好きな食べ物：トマト
米津彩子さん
「神経内科の経験を生かして貢献できたらと思います。」



診療部 リハビリテーション科 (医師)
モットー：興味を持つこと
趣味：登山、テニス
好きな食べ物：パスタ
阪野栄美さん
「専門性の高いリハビリ医療を学ぶことを楽しみにしています。」



愛育園 児童支援科長 (保育士)
モットー：なんとかなるさ
趣味：音楽
好きな食べ物：おいしいものなら何でも
鹿島房子さん
「アコーディオン、ピアノ伴奏の出前いたしま〜す♪いつでもどこでも〜」



看護部 1BC棟 (看護師)
モットー：笑顔を大切に
趣味：ペットのインコと遊ぶこと
好きな食べ物：お寿司
佐伯里恵さん
「一人ひとりの思いを受けとめ、笑顔を引き出せるような看護を行ってまいります。」



看護部 3AB棟 (看護師)
モットー：すべてに感謝
趣味：アスレチック
好きな食べ物：パフェ
笠原真希さん
「憧れのリハビリテーション看護に携わることができて毎日が楽しいです。」



リハビリテーション療法部 (小児理学療法士)
モットー：毎日楽しく、どんな時でもポジティブに
趣味：スポーツ、美味しいものを食べること
好きな食べ物：寿司・カレー
川野晃裕さん
「沢山の方々との出会いを大切に、日々努力したいと思います。」



リハビリテーション療法部 (成人言語聴覚士)
モットー：努力・向上心・笑顔
趣味：ウィンドウショッピング
好きな食べ物：グラタン・ハンバーグ・トマト
神代裕里恵さん
「色々な事を吸収し、技術を高めています。一生懸命頑張ります。」



検査部 放射線科 (診療放射線技師)
モットー：先ずれば人を制す
趣味：スーパー銭湯めぐり
好きな食べ物：寿司
石垣裕貴さん
「いろいろなことにフットワークよく、また柔軟に対応していきたいと思います。」

平成25年4月以降、新たにセンターにお迎えした方の中からご紹介いたします。

公開講座(7/13)のお知らせ

◇第13回千葉リハ公開講座
 動いて実感！感じて納得！リハビリテーション
 開催日時：平成25年7月13日(土) 12:30～
 会場：千葉リハビリテーションセンター

体験①「体験しよう！頭と体を元気にする体操」
 体験② センター内に配置された13か所のブース
 を巡ってのリハビリ体験

講演 「ご存知ですか？リハビリテーション」
 講師 昭和大学 水間正澄医師

展示 人工関節センター
 高次脳センター ほか

★多くの体験ブースを
 ご用意しています。
 ふるってご参加下さい！



日本リハビリテーション 連携科学学会第14回大会(ご報告)

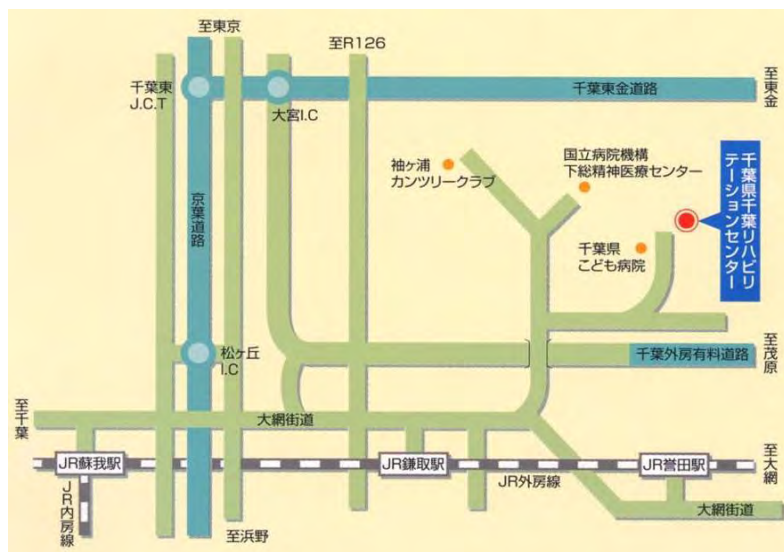
平成25年3月9日(土)、10日(日)に千葉市にて、吉永センター長を大会長として開催しました。全国の会員が500余名の小さな学会ですが、当日は200名を超える方々のご参加をいただき、「連携」に関する多様な議論が展開されました。

また、当日は「第6回千葉県地域リハビリテーションフォーラム」も同時開催し、今後の地域包括ケアへの地域リハ支援拠点機関の関わりを議論することができました。

当センターでは、今後も様々な機会を通して皆様への情報提供を行います。



センター案内図



車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約40分
- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行 約9分

無料送迎バスのご案内

(センター⇄JR鎌取駅 循環運行)

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20
12	10 30 50	
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13
12	03 23 43	
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について
 鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近
 (専用のバス停はございません)
 センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について
 中型バス(黄色)・・・2名
 マイクロバス(水色)・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。